

第4回定例会

第4回定例会

・審議した議案②

・審議した議案①

損害賠償の額の決定の議案審議を行い原案のとおり可決しました。

また、5件の意見書を可決し、関係省庁に出しました。

第4回定例会が12月15日と16日の2日間で開催され、一般会計と2特別会計補正予算、条例6件の議案審議を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

意見書

□ 持続可能な医療保険制度の構築に関する意見書
今後、さらなる超高齢化社会を迎える中、国保を社会保険として堅持し国民皆保険を維持するため、適切な財源確保

・損害賠償の相手方
西富 佐藤裕一氏
52万7800円

その他

□ 損害賠償の額の決定
公用車の事故により町が行う損害賠償の額が、次のおり決定になりました。

□ 手数料条例の一部改正
マイナンバー制度に伴う通知カード(紙)及び個人番号カード(プラ)の再発行手数料を規定するものです。

□ 国民健康保険条例の一部改正
□ 総合介護条例の一部改正
マイナンバー制度に伴い、条文の文言を追加し改正するものです。

□ 特別支援学校の「設置基準」策定を求める意見書
特別支援学校の児童・生徒数が増加し普通教室が不足し

□ 国の教育予算を増やし、高校無償化の復活及び給付制奨学金の確立等を求める意見書
高校生や大学生の学ぶ権利を保障し社会全体で支えるため、教育予算の増額、就学支援金の所得制限の廃止、高校生・大学生への給付制奨学金の確立、創設を求める意見書が可決され、関係大臣宛提出されました。

□ 北海道のすべての子供たちへゆきとどいた教育を求めよう
教材費などの保護者負担の軽減、北海道独自の少人数学級の拡充、教職員の増員、障害児への支援などの条件整備を図るため、北海道の教育予算の増額などを求める意見書が可決され、北海道知事などに提出されました。

□ 北海道のすべての子供たちへゆきとどいた教育を求めよう
教材費などの保護者負担の軽減、北海道独自の少人数学級の拡充、教職員の増員、障害児への支援などの条件整備を図るため、北海道の教育予算の増額などを求める意見書が可決され、北海道知事などに提出されました。

保、医療などの消費税の抜本的解決を求める意見書が可決され、国会や関係大臣宛提出されました。

審議した議案

予算

□ 平成27年度一般会計補正予算(第6号)
5413万円が追加され、予算の総額が57億4111万円になりました。

□ 平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
3458万円が追加され、予算の総額が10億3618万円になりました。



台風による河川の氾濫で被害に遭った道路(知来)

農地の集積・集約化を進めるための「機構集積協力金交付事業」に2958万円を計上!

台風23号による農業被害に対し補助金739万円!

条例

【主な歳入】
・その他繰越金 3458万円
【主な歳出】
・一般被保険者療養給付費負担金 1945万円
・一般被保険者高額療養費負担金 1340万円
□ 平成27年度介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)
46万円が追加され、予算の総額が2億4876万円になりました。

□ 選挙ポスター掲示場設置に関する条例の一部改正
第5投票区幌岩公民館を第4投票区浜佐呂間活性化センターに編入・統合することに伴い本条例を改正するものです。
□ 税条例等の一部改正
地方税法の一部改正により徴収猶予制度を条例で定めることとしたものです。
また、バイク・原付等との均衡を図るため、トラクター等の小型特殊自動車に対する軽自動車税の税率を改正し、増額するものです。
① 農耕作業用のもの 1600円→2000円
② その他のもの(フォークリフト等) 4700円→5900円



補正予算 質疑の中から

◎ 佐呂間町サポーターズ倶楽部等について
【質問】 サポーターズ倶楽部の会員数、またその反響は。
【答弁】 現在は、770名ほどで、道内が約4割、関東から約3割で、東京でのPR活動もあり、首都圏の会員が増えています。反響については、会員特典の特産物の抽選会に会員の5割の方から応募があり、その中でたくさんコメントが寄せられており、ホームページで公開していますが、非常に手ごたえを感じています。

【質問】 水産物や農産物などの生鮮特産物をふるさと納税の返礼品にすることでふるさと納税の増額につながっていくかと思うが。
【答弁】 ネット上で振込みまでできる自治体では大きな実績を上げていますが、本町ではそういう手続きは行っておらず、職員の体制もあり現状の手順を進める中で、信頼を第一にしたいと考えています。生鮮品の要望もあるが不在時の対応などの問題があり実施していないが、将来的には考えていきたい。